



…ドクター内田のひとりごと…

思いつくまま 60  
気のむくまま

## 新しい出会い

皆様、新年度になりました。いかがお過ごしでしょうか。卒業、旅立ち、別れ、進級、入学、入社、出会いなど、新たな生活を踏み出す人も多いでしょう。もちろん何にも変わらない人もいます。でも新年度ってなにかしら周りの変化を感じますね。病院も新しいスタッフを迎えました。さわやかに運営していきたいと思います。

さて、この時期いつも言われることがあります。「また担当の先生が変わった」「やっと慣れたと思ったのにどうして？」せっかく何でも話せるようになったのにまた新たな関係性を築くのは確かにしんどいものです。こんな私も、医者になって3年目から10年目までの8年間で6回異動しました。患者さんのつらさもわかりますが、異動する側も申し訳ない。ですので今回は医師の異動について説明します。

町立病院は、現在常勤医師6人のうち3人を埼玉県からの派遣という形で受け入れています。自治医大を卒業した医師は、義務年限中は県内の公的医療機関に勤務することになりますが、埼玉県では町立病院以外に秩父市立病院や大滝診療所、名栗診療所、深谷赤十字病院などがその派遣先となり、毎年人事の関係で異動を余儀なくされます。

医師の異動は弊害ばかりではありません。私は高知県でも小鹿野町でも多くの若い優秀な医師と働いてきました。彼らは研修医時代に、大病院で最新の治療を経験し知識をもって地域に派遣されてきます。古い知識で戦っている私にとって、よく勉強している若い先生方に最新の医療知識を教わることは多々ありますし、それは病院にとっても皆さんにとってもいいことです。医療の進歩は早く、私が医者になりたてのころには常識だと思われていた治療が

実は間違っていたとか、やってはいけない治療だと思われていたことが今では標準的治療になっている、なんてことも多いのです。医療知識は常に更新される必要があります。

また、医師が異動しても新たな医師が派遣されるという現行のシステムはとても重要です。町や病院が独自で医師を見つけてくることは大変な労力です。実は、皆さんが安心して医療が受けられているのは、医師の頭数がそろっているからなのです。

さらには、町立病院を経験した医師が秩父市立病院や深谷赤十字病院で働いていることは、患者さんを紹介する際、こちらの状況をよく理解してくれてとてもありがたいことです。知った顔の先生が紹介先の病院にいる事は、皆さんにとっても心強いでしょう。

### 人との出逢いは、ベストタイミングで訪れる

(中村文昭:実業家、講演家)

### 人と出会ったおかげで、自分とも出会えた

(谷川俊太郎:詩人、絵本作家、脚本家)

私と仲良しのしょうじさんは、いつもプラス思考で、新しいことにも新しい出会いにも前向きです。「いろいろ出会えてえいやん。ダメやったら変わったらいがよ」「まわり道と思ってもそこに答えがある時があるんよ」

新年度、あちこちの場面で新たな出会いに期待して見るのもいかがですか？

院長 内田 望

## 外来からのお知らせ

### 休診

4月5日(火) 婦人科 小笠原Dr.  
4月12日(火) 耳鼻咽喉科 荒木Dr.  
4月29日(祝) 休診日

最新の休診情報は、町立病院のホームページ「診療日カレンダー」でお知らせしています。  
※休日急患当番医は次ページをご覧ください。

### 発熱外来

発熱や咳など呼吸器症状等のある人は、午後2時から4時までの間、発熱外来で対応します。必ず、事前にお電話(☎75-2332)いただき受診方法をご確認ください。

### 〈お子さんをお持ちの人へ〉

小児については、小児科医による診察が望ましく、かかりつけ小児医療機関や埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター ☎0570-783-770(24時間対応)に電話などでご相談ください。